

日本教材学会東海・近畿・北陸支部令和7年度総会・研究会のご案内（最終案内）

日本教材学会東海・近畿・北陸支部では、総会・研究会を開催します。これまでの教材（不易の教材）、これからの教材（新たな教材）について、本学会が蓄積してきた所産を含めて総合的な検討の場にします。これらの教材の指導、教材の評価などについても、教師と出版社、研究者が討論する場となれば幸いです。今回の研究会を通して、参加されるみなさまがこれまでの教育実践を振り返りながら、新たな時代に向けた教材のあり方、教材の開発への方向性が見出されることを期待しています。

1. 日 時：令和8年3月15日（日）午後1時～午後4時30分（予定）
2. 場 所：静岡大学教育学部 G 棟 201 教室 （静岡市駿河区大谷 8 3 6）
3. 予 定

12：30～（受付） G棟0階からお入りください。

13：00～13：10 支部総会

13：10～14：10 研究発表（発表9分・質疑3分）

①澤口莉乃（静岡大学教職大学院）

「高校生の視点からみた海洋フィールドワークの意義」

②鈴木 陸（静岡大学教職大学院）

「中学校理科と技術科を関連づけた教科横断的な学習の構想」

③前原 翔（静岡大学教職大学院）

「学校外教育の科学的探究活動における学業的援助のニーズ調査：

静岡 STEAM フューチャースクールでの実践」

④新鶴田道也（東海大学）

「水族館を活用した理科授業のための観察シートの開発：

仙台うみの杜水族館のケーブペンギンを例に」

⑤郡司賀透（静岡大学）

「20世紀初頭の科学技術教育をテーマにした動画教材の制作構想」

14：10～14：20 休憩

14：30～15：30 ワークショップ

藤枝理科サークルSCIENTIA

「中学校理科における生徒の科学的探究を促進する教材」

15：30～15：40 休憩

15：40～16：20 招待講演

中村泰輔 先生（東海学園大学教育学部）

「科学的探究の本性NOSIを視野に入れた理科教材」

16：20～16：30 閉会の挨拶 終了

【自家用車でお越しの参加者】 正門守衛で入構手続きをお願いします（臨時入構証はお送りしません）。

【オンライン参加】 Zoomを使用します。

<https://us02web.zoom.us/j/83890128410>

ミーティング ID: 838 9012 8410

【会場】 教育学部G棟

<https://maps.app.goo.gl/T3zYDZ3MvboU74bU8>

※最寄りの駐車場：教育学部C棟付近（学内は自由に駐車することができます）

<https://maps.app.goo.gl/bwA7YxZ75WucYFnu9>

【問い合わせ先】 郡司賀透（静岡大学教育学部）

（日本教材学会東海・近畿・北陸支部長）

jatlm.tokai@gmail.com

実行委員 山元 薫（静岡大学教育学部）

東海支部事務局 中村泰輔（東海学園大学教育学部）